

新型インフルエンザワクチンの安全性に関する疫学研究

(平成22年度厚生労働科学研究費特別研究事業 研究代表者:山縣 然太郎)

研究概要

昨年度の新型インフルエンザワクチンの接種において、基礎疾患を有する者のワクチン接種後の死亡が報告された。ワクチン接種が症状増悪のリスク要因であるかどうかについて、副作用報告による解析には限界があり、疫学調査を実施する必要性があることが専門家からも指摘されている。これらを踏まえ、昨年冬シーズンの診療記録等を用いたケースコントロール研究を行い、来期の接種事業に向けた安全対策について助言、提言する。

研究方法

- ・呼吸器の基礎疾患を対象に、死亡群と対照群について、各種要因をマッチングさせた対照群との比較による1000例程度の疫学研究を実施
- ・腎臓の基礎疾患を対象に、死亡群と対照群について、各種要因をマッチングさせた対照群との比較による1000例程度の疫学研究を実施
- ・これらの研究により、インフルエンザワクチンの接種が呼吸器疾患や腎疾患のリスク増加の要因となっているか検討

期待される成果

- ・インフルエンザワクチンの安全性の検証
- ・来期に向けた安全対策への助言と提言

